1992年4月17日第三種郵便許可（毎月3回7の日発行）
2023年7月14日発行 SSKR増刊通巻第9827号

Special Olympics Nippon Tokyo
SSKR NEWS LETTER
とらいあんぐる
Vol. 90

4年ぶり！ 冬季地区大会（氷上競技）を開催

「わたくしたちは、精一杯力を出して勝利を目指します。たとえ勝てなくても、がんばる勇気を与えてください。」
(Let me win. But if I cannot win, let me be brave in the attempt.)

開催を待ち望んでいたアスリートの宣誓により、フィギュアスケート、ショートトラックスピードスケートの4年ぶりの地区大会が、4月22日（土）、江戸川区スポーツランドアイススケート場で開催されました。カラフルで本格的な衣装でステップを踏み、前回大会から成長した姿を見せくれた東京と神奈川のフィギュアスケートのアスリート26名。スピードに乗ったスケーティングをするベテランのアスリートから、コーチの補助付きながらも規定距離を歩くまでなど様々なレースが繰り広げられたショートトラックスピードスケートの東京と栃木のアスリート30名。

2024年2月に開催される「第8回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム」の東京選手団の選考大会となったこの大会でしたが、参加したたくさんの氷上のアスリートの力と勇気と笑顔が溢れる大会となりました。

大会概要

- 開催日:2023年4月22日
- 開催場所：江戸川区スポーツランドアイススケート場
- 参加地区および人数：
  フィギュアスケート／東京・神奈川
  アスリート26名　パートナー（オープン参加）2名
  ショートトラックスピードスケート／東京・栃木
  アスリート30名

TOYOTA presents スペシャルオリンピックスデー2023に参加

4月15日（土）、国立代々木競技場第一体育館にて、B.LEAGUEアルバルク東京の公式戦とあわせて「スペシャルオリンピックスデー2023」が開催されました。

6回目を迎えた今回は、ハーフタイムショーとしてSON・東京の競技チアとアルバルクチアリーダーが共演、そして6月開催の「SO夏季世界大会・ベルリン」に出場するバスケットボール女子チームの紹介が行われました。

「事前に合同練習を行ったとはいえ、客席に誰もいない中でのリハーサルと7,000人以上の観客がいる本番では、会場の空気が違いました。とはいえ、登場直前まで少し体調不良だったアスリートも、本番では笑顔でしっかりパフォーマンスすることができ、みんな大満足の1日だったと思います」

（競技チアプログラム 大田会場 主任コーチ・稲山敦子）

「世界大会選手団として7,000人の観客とSON・東京の競技チアに激励いただき、うれしいかぎりです」

（バスケットボール 世界大会帯同コーチ・内藤清正）

1992年4月17日第三種郵便許可（毎月3回7の日発行）
2023年7月14日発行 SSKR増刊通巻第9827号

アイスホッケーのトップアスリートがフロアボール・プログラムに参加

6月17日（土）、アイスホッケーの北米プロリーグで活躍している佐野月咲（さの・るなさ）さんが、フロアボール・プログラムのトレーニングに参加しました。

佐野さんは5歳からアイスホッケーを始め、高校卒業後に渡米。名門ハーバード大学でプレーを続け、現在は北米プロリーグに挑戦中です。

「皆さんと一緒に練習するのを楽しみにしてきました」との佐野さんのあいさつを受け、プログラムはスタートしました。いつものように準備体操を行い、ドリブル、ボールキープ、佐野さんとアスリートが組んでのパス練習、そしてシュート練習の後、ゲームに入りました。ゲームは、佐野チームと黒岩（コーチ）チームに分かれ、選手交代をしながら行いましたが、白熱したプレーが続き、同点に。もう1ゲーム行っても同点、さらに佐野対黒岩のキャプテンPK対決でも勝負がつかず、引き分けになりました。

佐野さんからは、「とても実り多い1日でした」というコメントをいただきました。

「『氷上』と『体育館』という違いはありますが、似たようなスポーツであるため、

5分ほどのレクチャー後、一緒にプレーをしましたが、上手です！ 終始楽しそうにプレーしていたのが印象的でした。練習終了後、アスリートにボールキープのやり方もていねいに教えてくれました。アスリートはスペシャルゲストに大喜びで、いつもよりテンションが高く、楽しそうでした」

（フロアボール・プログラム　マネージャー森本由美）

日本財団ボランティアセンター「ぼ活!」で、セミナーを開催

日本財団ボランティアセンターが推進している「ぼ活!」。ボランティア活動とのマッチングやセミナー/イベント、そして仲間とのつながりを通じて、より充実したボランティアライフをサポートしています。

この「ぼ活!」が実施するセミナーにて、スペシャルオリンピックス日本・東京の活動を紹介しました。題して、「知ることから始めよう！ セミナー～知的障害のあるアスリートから話を聞く、スペシャルオリンピックスの魅力～」。開催日時は、6月15日（木） 19:00～20:15。Zoomを利用したオンラインでの開催ということもあってか、266名という多くの方々にお申込みいただきました。セミナーには、バスケットボールやアルペンスキーなどで活動しているアスリートとコーチが登壇。「スペシャルオリンピックスって、パラリンピックとは何が違うの?」「どんなボランティアができるの?」「活動の楽しみ方は?」等々、スペシャルオリンピックスの魅力を紹介し、ボランティア参加にチャレンジするきっかけを提供しました。

ワンハンドレッド倶楽部が「落語会」を開催

6月24日（土）銀座フェニックスプラザにて、ワンハンドレッド倶楽部による「柳亭こみち」師匠の落語会が開催されました。

ワンハンドレッド倶楽部とは、スペシャルオリンピックス日本・東京のファンドレイジング委員会（委員長・髙山恒男）が運営するサポート組織。1万円（約ワンハンドレッド$）の寄付を持ち寄り、金銭面でアスリートたちの活動を支援していこう、という考えで発足しました。定期的にメンバー同士の懇親の場も設けていますが、この3年間はコロナ禍によりイベントは自粛。それが今年は倶楽部発足から15年ということもあり、満を持しての新企画「落語会」開催となりました。

実際の高座は、さすが落語界の保守本流である柳派一門。大師匠の人間国宝・柳家小三治師、師匠の柳亭燕路師の芸を、しっかりと受け継ぐ実力派ぶりで、本格的な古典落語を3席披露。休憩前には寄席でおなじみの「かっぽれ」まで踊っていただけました。無料イベントでしたが、同伴者の方の新規入会や特別寄付（こみち師匠含む）も多くあり、ファンドレイジング活動としても大成功となりました。

1992年4月17日第三種郵便許可（毎月3回7の日発行）
2023年7月14日発行 SSKR増刊通巻第9827号

木彫りプログラムが日本木彫刻展に出展

文化プログラム「木彫り」に参加しているアスリートたちの作品が、日本木彫刻協会主催の「第四回日本木彫刻展」に並びました。同協会の会長・関侊雲先生と副会長・紺野侊慶先生が、アスリートたちの指導をされている関係で、前回（2018年）に続き2度目。今回は小品約20点の展示となりました。

木彫りプログラムの講師で、主催の日本木彫刻協会副会長・紺野侊慶先生から、下記のコメントをいただきました。

「第4回日本木彫刻展は新型コロナウイルス感染症の影響で5年ぶりの開催となりました。その間、様々な経験から、一人一人の上達も目を見張る程、個性豊かな作品を完成させることができたかと思います。

来場者も5日間で約2,300人の方々にお越しいただきました。これも又、アスリートの頑張りはもちろんですが、周りで支えてくださっている関係者様方、そしてご家族の大きな協力があっての成果だと思っております。これからも木彫りを通して多くの方々と繋がりを持ち、皆様の生きがいになる手助けを少しでも提供できるように尽くしていきたいと思っております。

次の第5回日本木彫刻展は3年後を予定しております。これからもアスリートの制作活動を暖かく見守って頂けたら幸いです」。

FIDジャパン・チャンピオンシップテニス大会に参加

6月10日（土）、横浜市山手公園テニスコートで行われた、数少ない外部のシングルス大会「FIDジャパン・チャンピオンシップテニス大会」に参加しました。

大会参加者は総勢38名（男子28名、女子10名）。SON・東京からは7名（深田 洋平、中村 昇平、松谷 太郎、西村 太郎、小西 健也、飛田 俊治、山﨑 智世）が出場し、ゲームに臨みました。

結果は、松谷さんが優勝。山﨑さんは1回戦敗退でしたが、コンソレ（勝ち抜きトーナメントの敗者どうしで行う試合）での優勝を果たしました。

ベルリンでの夏季世界大会にSON・東京から6名が出場

スペシャルオリンピックスには、オリンピック同様4年に1度の世界大会があります。

今年度は、そのうち夏季競技の世界大会がドイツ・ベルリンにて開催され、日本からも73名（アスリート35名、パートナー10名、コーチ20名、団長・副団長・メディカルスタッフら8名）の選手団が現地へと赴きました。

東京地区からは、鶴見愛さん（競泳）、出口苑子さん（バスケットボール女子チーム）、長山直さん（バスケットボール女子チーム）、山﨑智世さん（テニス）のアスリート4名と、内藤清正さん（バスケットボール女子チーム）、松川はるみさん（ボウリング）のコーチ2名が参加。メダル等の成績についてはそれぞれですが、全員が大きな成果と成長を手にして帰国したことは間違いありません。

世界大会は、SO日本所属の1%にも満たない、ごく限られたアスリートだけしか出場できません。それだけに、今回出場できた人たちは、ベルリンでの経験を仲間や周囲の人たちに、しっかりとシェアしてほしいと思います。

1992年4月17日第三種郵便許可（毎月3回7の日発行）
2023年7月14日発行 SSKR増刊通巻第9827号

Special Olympics Nippon

Sports with all NATIONAL WINTER GAMES 2024

2023年11月18日(土)、19日(日)
会場:ホワイトリング（長野県長野市）

フロアホッケー（20人）

アスリート	氏名	エントリー種目
1	小笠原　城	チーム競技
2	小笠原　隆三	チーム競技
3	小澤　陽介	チーム競技
4	坂元　健哉	チーム競技
5	鈴木　亮宏	チーム競技
6	髙橋　凌	チーム競技
7	橋本　武	チーム競技
8	平田　裕基	チーム競技
9	福田　啓史	チーム競技
10	藤波　琢磨	チーム競技
11	横山　達也	チーム競技
12	小川　紗奈江	チーム競技
13	片岡　真梨	チーム競技
14	柴田　瑛	チーム競技
15	永塚　直子	チーム競技
16	畠山　志織	チーム競技
コーチ	**氏名**	**役職**
1	森本　利彦	ヘッドコーチ
2	髙橋　豪	コーチ
3	黒岩　周一郎	コーチ
4	森本　由美	コーチ

フロアボール（18人）

アスリート	氏名	エントリー種目
1	船橋　理貴	個人技能競技
2	志田　瑠衣	個人技能競技
コーチ	**氏名**	**役職**
1	大野　勝一	ヘッドコーチ
アスリート	**氏名**	**エントリー種目**
1	五十嵐　公祐	チーム競技
2	加藤　抄弥	チーム競技
3	河合　航太	チーム競技
4	村岡　諒一	チーム競技
5	森本　拓哉	チーム競技
6	渡邉　大輔	チーム競技
7	渡辺　佑平	チーム競技
パートナー	**氏名**	**エントリー種目**
1	菊野　泰弘	チーム競技
2	佐原　恭平	チーム競技
3	田中　達規	チーム競技
4	中道　学人	チーム競技
5	正木　七絵	チーム競技
コーチ	**氏名**	**役職**
1	上村　光男	ヘッドコーチ
2	大池　千歳	コーチ
3	武藤　祥崇	コーチ

2024年2月11 日(日) 、12 日(月・祝)
会場:名寄ピヤシリスキー場（北海道名寄市）

アルペンスキー（20人）

アスリート	氏名	エントリー種目
1	内尾　拓也	中級GSL
2	大石　淳史	中級GSL
3	太田　雄大	上級GSL
4	木附　雄祐	上級GSL
5	杉山　龍乃介	上級GSL
6	大胡　徹	中級GSL
7	武田　和幸	中級GSL
8	野口　栄太	中級GSL
9	松田　元明	中級GSL
10	吉原　圭輔	中級GSL
11	高平　萌	初級GSL
12	浜井　慧	上級GSL
13	福村　真央	中級GSL
14	柳下　沙也香	中級GSL
コーチ	**氏名**	**役職**
1	石井　公章	ヘッドコーチ
2	太田　孝	コーチ
3	小松　順子	コーチ
4	松矢　英晶	コーチ
5	大石　雄三	追加スタッフ
6	杉山　紀子	追加スタッフ

2024年2月24日(土)、25日(日)
会場:ビックハット（長野県長野市）

フィギュアスケート（19人）

アスリート	氏名	エントリー種目
1	柿原　政典	シングル　レベルⅢ
2	溜田　貴彦	シングル　レベルⅢ
3	松尾　拓海	シングル　レベルⅡ
4	松尾　日出海	シングル　レベルⅢ
5	松元　竣資	シングル　レベルⅣ
6	秋本　早悠里	シングル　レベルⅢ
7	小髙　梨佐	シングル　レベルⅠ
8	神長　莉々彩	シングル　レベルⅡ
9	木村　恵	シングル　レベルⅠ
10	清信　巴菜	シングル　レベルⅥ
11	齊藤　初音	シングル　レベルⅥ
12	清水　菜奈子	シングル　レベルⅡ
13	平原　くるみ	シングル　レベルⅡ
14	松﨑　未来	シングル　レベルⅠ
コーチ	**氏名**	**役職**
1	坂槙　眞三子	ヘッドコーチ
2	日向野　美峯	コーチ
3	米本　誠	コーチ
4	清水　一滴	コーチ
5	瀬谷　紀子	追加スタッフ

ショートトラックスピードスケート（11人）

アスリート	氏名	エントリー種目
1	志村　悠辰	500m
2	田村　祐太	333m
3	栃倉　一輝	333m
4	仲江　政志	500m
5	原田　篤志	333m
6	三好　悠治	1000m
7	近藤　瑞穂	500m
8	吉原　里音	333m
コーチ	**氏名**	**役職**
1	近藤　昭彦	ヘッドコーチ
2	吉原　佐知子	コーチ
3	井川　雄亮	追加スタッフ

全競技	丸山　陽	団長

1992年4月17日第三種郵便許可（毎月3回7の日発行）
2023年7月14日発行 SSKR増刊通巻第9827号

法人・団体・個人会員募集中

SON・東京の活動は、法人・団体および個人の皆様からの会費と寄付金によってまかなわれています。

正会員	（個人）入会金：5,000円	年会費：5,000円
	（法人）入会金：5,000円	年会費：10,000円
賛助会員	（一口）年：3,000円～	

郵便振込口座：**00140-1-723232**
クレジットカード：https://syncable.biz/associate/sontokyo/membership
※便利な口座振替をご用意しています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

お買い物するだけで寄付できます！

お支払い金額はそのまま。
価格の一部（3～5%もしくは定額）が、SON・東京へ寄付されます

ご支援・ご協力よろしくお願いいたします。

amazon

Amazon、Amazon.co.jp およびそれらのロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標または登録商標です。

遺贈・相続寄付についてのお知らせ

SON・東京はこの度、READYFOR株式会社と連携し、遺贈によるご寄付や相続財産のご寄付に関するご相談を承ることになりました。遺贈や相続に関してご質問やご相談がございましたら、以下の宛先までお気軽にご連絡ください。

●レディーフォー遺贈寄付サポート窓口 https://izo.readyfor.jp/
寄付のご意向や詳細が決まっていなくても構いません。何度でも無料で対応してくれます。READYFOR社は、これまで約2万件の社会活動を支援している会社です。

お電話でのご相談・資料請求
レディーフォー遺贈寄付サポート窓口 **0120-948-313**（通話料無料）
●受付時間：平日10:00～17:00（年末年始を除く）

オンラインでのご相談・資料請求
右のQRコードを読み込み、フォームにてご連絡ください。

事務局からお知らせ

●本年度は決まった期間の夏季休暇を設けません。職員が交代で休暇をいただきます。
職員が休んでいることで、電話等の対応がおろそかになる場合もありますが、悪しからずご了承ください。

訃報

役員及び事務局長を歴任され、卓球プログラムのコーチとしてもご尽力いただいてきた中西義治（なかにし・よしはる）氏が、7月8日享年85歳にて永眠されました。心より哀悼の意を表します。

SON・東京オフィシャルスポンサー

株式会社クラフティは、OA機器&映像・音響機器の全国レンタル・リースの他、クラウドサービス、アプリ開発、撮影／配信スタジオ・Cafe運営・スクールリノベーション、ドローンスクールなど、さまざまな分野で万全のビジネスサポートを行う企業です。

Crafty
BelleSystem 株式会社ベルシステム
HANZO
SNK 新日本空調株式会社
交洋貿易株式会社
citi
FOS FOUNDATION OCCUPATIONAL SKILL
TOYOTA MOBILITY SERVICE
東京海上ビジネスサポート株式会社
東京海上日動キャリアサービス
東京山王ロータリークラブ
株式会社NHKビジネスクリエイト

SSKR NEWS LETTER とらいあんぐる vol.90
発行所：〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3丁目1番17号
ヴェルドゥーラ祖師谷102号室
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会
編集元：認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京
編集人：真壁理
編集スタッフ：SON・東京広報委員会／石橋泰介（デザイン）
定　価：100円（代金は会費に含まれています）

Special Olympics Nippon Tokyo

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-75号室
TEL：03-6380-3135 FAX：03-6380-3136
E-mail：office@son-tokyo.or.jp
web：https://www.son-tokyo.or.jp
www.facebook.com/specialolympicsnippontokyo

Update
登録アスリート数：1,843名
正会員数：943名
（2023年6月30日現在）

1992年4月17日第三種郵便許可（毎月3回7の日発行）
2023年7月14日発行 SSKR増刊通巻第9827号

UNIQLO LifeWear TOYOTA AOI Pro. SoftBank ソニー生命 Lions Clubs International BA
Coca-Cola KFC JAPAN AIRLINES MS&AD 三井住友海上 ANYTIME FITNESS ThreeBond ReNet.jp group スポーツくじ BIG
主催：公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本　運営：2024年第8回スペシャルオリンピックス日本 冬季ナショナルゲーム 大会実施委員会　特別協力：公益社団法人 スペシャルオリンピックス日本・長野 / 特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・北海道